

▼東北

囲碁同好会は持ち点制

今井雄二(TBC)

東北民放クラブ囲碁同好会は持ち点制で対局していますので、ご紹介しましょう。



対局中の皆さん

はじめに棋力に応じて個人に持ち点を付与します。例えば初段クラスには120点、二段クラスには130点です。対局者はこの持ち点差によつて0〜6点差は互先、7〜12点差は常先、13〜24点差は二子局で対局します。

例えば130点の人と120点

の人の対局の場合、点差は10点ですから常先で始めます。130点の人が二番続けて勝ち越せば132点に、120点の人は118点となり14点の差がつかます。次回からは二子局に変わります。逆の場合は差が6点に縮まりますので互戦になります。(例図参考)

民放クラブ囲碁対局記録票

平合別段	0~	7~	13~	23~	37~	49~
対局数	6	12	24	36	48	60
平合別段	互先	常先	2子	3子	4子	6子
別	24点	24点	24点	24点	24点	24点

(例)対局者 佐藤2段

対局年月日	相手氏名	相手段級	持ち点	勝敗	自己段級
/	高橋3段	130	120	×	120
/	高橋3段	131	119	×	119
/	高橋3段	132	118		118

※次回から2子で対局です。

民放クラブ囲碁対局記録表

この制度のメリットは、①昇段等を管理する人が不要なこと、②対局終了後すぐに自分の位置が解かり、毎日が真剣勝負に、ということ。皆さんのところでも如何？ 結構楽しいですよ。



麻雀同好会だより

水戸 東治(TBC)

この3月16日、今年度3回目の懇親麻雀大会を行いました。麻雀は脳トレに一番良いと言われ、対面で話をしながらのゲームなので認知症の予防に有効です。

今回は当初8名参加の予定でしたが1名がキャンセル、急遽Nさんに参加をお願いし実施できました。始まれば和気あいあい、役作りを楽しむ人、久しぶりに牌を持つ人、黙々と手作りをする人、ニコニコしながら進める人、それぞれの人柄が見られます。



健康麻雀も楽しいです

一回戦1時間の時間制限で卓のメンバー交代をしながら三回戦を行いました。途中、おにぎりタイムがあり、ママさんの味噌汁をいただいたり、二回戦ではコーヒーやアイスクリームを食しながら三回戦へと進みました。楽しい時間を過ごしました。



最後に記念撮影

次回は7月20日の予定です。同好会員以外の皆様のご参加も歓迎しております。ぜひお越しください！